

少人数学級と地域の良さを活かして

1 目的と経緯

下吉田第一小学校は、令和2年度より富士吉田市教育委員会から小規模特認校の認定を受け、学校教育活動の魅力化への取組を進めてきた。小規模校の良さを活かした「きめ細かな教育」、グローバルな人材育成を図る「国際理解教育」、地域の専門家を招聘しての「ふるさとふれあい学習」を特色の3本柱として取り組んでいる。毎年7月には、特認校入学希望者を対象に学校開放を行い、地域在住の専門家を講師に招いて、本物にふれながら体験的に学ぶ授業を展開している。

2 内容

1年生 地域在住の画伯による絵画指導 『富士山を描こう』

2年生 (株) テックストーリーによるICT学習

『ICTを身近に！～プログラミング学習～』

3年生 富士山世界遺産センターによる地域文化学習 『流鏝馬祭りの由来』

4年生 富士吉田市国際交流員による異文化学習 『アメリカの文化を学ぼう』

5年生 河口湖フィールドセンターによる野鳥学習 『富士山麓の自然と野鳥』

6年生 マウントフジトレイルクラブによる富士山学習

『富士登山に向けて～世界文化遺産と自然を学ぶ～』



1年生



4年生



5年生

3 成果と課題

- 各方面のプロの方から直接学ぶことで、普段の授業ではできない体験をすることができている。それぞれの学年が、学んだことを以後の授業に活かすこともできた。
- 特認校入学希望者を対象に学校開放をすることで、本校に入学希望を出す家庭が増え、児童数の増加につながっている。
- 教育課程に沿った学びを推進していくための、地域在住者の人材確保を続けていくことが課題である。